



多くの人が日食を観察しました

## 7/22 日食を観察

日本の陸地では46年ぶりに皆既日食が見られたこの日、部分日食の観察会が姫治公民館で行われました。

約70人の参加者は、日食の仕組みや「直接目で太陽を見ない」など、観察にあたっての注意事項を聞いてから日食を観察しました。参加者からは「とてもきれいで不思議な感じ」、「太陽が月みたいに欠けて見える」といった驚きの声が上がっていました。次回、日本で見ることができる皆既日食は26年後ということです。

## 7/26 多彩な催しを楽しみました

文化創造センター（下恵土）で、「アーラ祭2009」が開催されました。この催しは今回で7回目となり、約3,800人が参加しました。

会場では、多文化共生プロジェクト「危機一髪」の上演や、障がいのある人たちが制作した芸術作品を展示する「エイブル・アート展」、野外ステージや歌舞伎の化粧を体験するコーナーなど、さまざまな催しが行われました。



演劇「危機一髪」のひとこま



みんなの家を「まち」にします

## 8/7 まちをデザイン

小学生を対象とした「夏休み子ども景観講座」が総合会館分室（下恵土）で行われました。参加した10人の子どもとその保護者たちは、段ボールや新聞紙などを使って思い思いの家や庭を作製した後、全員の作品を集め、一つの「まち」を作りました。

参加者からは、「こんなきれいなまちに住みたい」、「隣の人のことも考えた方がいいよ」など、意見を出し合いながら「まち」をデザインしていました。

## 8/8・9 可児夏まつり2009で盛り上がる

「可児夏まつり2009」が、可児川沿いのふるさと川公園で開催され、3万人を超える市民が参加しました。

8日に、ダンスグループが演舞を披露するステージ発表で幕を開けました。その後、今年で5回目を迎える噴き上げ花火「FireFantasy」が行われ、音楽に合わせた花火が上がると、来場者から歓声があがりました。

9日は、魚つかみなど、親子で楽しめる催しが行われ、夜は総踊りなどで盛り上がりました。



夜空を彩る噴き上げ花火